

川上ダム通信

2021
11
月号



Vol. 195
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中！
https://twitter.com/jwa_kawakami

ご意見・ご感想はこちらへ
[e-mail:somu1@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp)

選択取水設備の開閉装置と機側操作盤据付が完了！

いよいよ、選択取水設備の完成が間近に迫ってきました。令和3年5月号でお伝えした開閉装置が現場に搬入され、開閉装置と機側操作盤（ツイッター令和3年9月17日投稿）の据付が完了しました。

据付完了後には、設計図どおりの位置に据付されているか確認する寸法検査を行いました。寸法検査では、項目の設計値に対し、許容値内に収まっていることを確認しました。許容値は、基準で定められ最大±5mm以内となっております。とても厳しく管理されています。

今後は、開閉装置と機側操作盤を電気配線で接続を行うとともに、電気配線を管理所に設置される制御装置から機側操作盤に接続し、遠方からの指令によって正しく動作できるか確認する対向試験を11月末に行います。



機側操作盤据付のようす



選択取水設備開閉装置のようす（9月時点）



据付後の寸法検査のようす

Twitter(ツイッター)のQRコード

川上ダムでは、Twitter(ツイッター)で日々工事の進捗状況を発信しています。

ぜひ、ご確認してみてくださいはいかがでしょうか。



機側操作盤の工場での確認状況



開閉装置の据付開始状況

【機械課 高橋慶太】

令和3年度技術研究発表会

令和3年9月9日（木）に令和3年度（第24回）関西・吉野川支社淀川本部管内技術研究発表会が開催されました。本発表会は、研究や創意工夫を凝らした業務の報告などを行うことで職員の技術力向上を図るとともに、自己啓発と研究意欲を喚起することが目的です。今年度は新型コロナウイルス感染予防対策としてWebでの開催となり、発表者は建設所からカメラを通して発表を行いました。全14題の発表の内、当建設所からは7題の発表を行い、審査の結果2題が優秀賞を、1題が特別賞をいただきました。また、今年度は外部の有識者の方々にも審査していただき、貴重なご意見を頂戴する機会にも恵まれました。

川上ダム建設所の受賞

【優秀賞】

題名：直線多段式ローラゲートの止水性改善への取組
発表者：高橋 慶太（機械課）

題名：川上ダム本体建設工事における高速施工の実施
発表者：松尾 昂祐（工事課）

【特別賞】

題名：高度なダム管理を目指したケーブル配線計画
発表者：後 雄貴（機械課）

筆者は川上ダムの骨材運搬に使用している道路の性状調査について発表しました。前年度の反省を活かし発表に臨みましたが、受賞には至りませんでした。次回はいいただいたコメントを参考に、さらに改善を加えて受賞を目指したいと思います。

各管内で受賞された方々は、12月7日（火）、埼玉県の本社で開催予定の令和3年度水資源機構技術研究発表会で発表することとなります。

機構では職員一同、これからも技術力の向上とともに自己研鑽に努めてまいります。

【調査設計課 北爪 皓】

オオサンショウウオの人工巣穴について



オオサンショウウオは川にある岩の隙間などを巣穴にし、8月頃から10月頃にかけて産卵します。川上ダムでは、保全対策として湛水予定区域上下流の巣穴が少ない箇所人工の巣穴を設置し、オオサンショウウオの隠れ家及び繁殖場所を確保しています。

設置した人工巣穴の利用状況は、水中カメラを用いたモニタリング調査で確認しています。今年は現時点で6回の調査を行い、延べ14個体が人工巣穴を利用しているようすが確認されています。

また、現時点では人工巣穴内でオオサンショウウオの卵は確認されていませんが、一昨年は人工巣穴内で卵が確認されています。

このように、オオサンショウウオが隠れ家や繁殖場所として人工巣穴を利用していることを確認できると、生息環境の保全対策の効果が実感できます。これからも、オオサンショウウオが元気に過ごしてくれるよう見守って行きたいと思えます。



設置している人工巣穴



今年の調査で確認された個体



一昨年の調査で確認された卵

【環境課 戎谷大和】

令和3年度第3回安全協議会の開催

～安全パトロール・安全協議会長による奨励賞表彰～

当建設所では、工事現場の安全点検や受注者への指導などを目的として年に5回、安全協議会を開催しています。令和3年9月29日（水）には、今年度第3回目の安全協議会を開催し、7月から9月に実施した安全パトロールで指摘があった危険箇所や良い事例を共有しました。その後、建設工事の現場に向かい、安全パトロールを行いました。

安全パトロールの後、安全協議会長（川上ダム建設所長）による奨励賞表彰を執り行いました。この表彰は、現場での安全意識の向上を目的に、工事・業務の元請業者からの推薦に基づき、当建設事業の現場作業において労働災害防止に関わる安全行動で特に模範となる現場作業員の方を奨励するため、令和元年度より実施しております。今回は令和3年度上半期の工事・業務を対象に、8業者より8名の現場作業員の方を表彰しました。

川上ダム安全協議会は、引き続き無事故で事業が推進されるべく、活動に取り組んでまいります。



安全パトロール実施状況

工事

川上ダム本体建設工事

- ・株式会社大林組
- ・岸本建設株式会社
- ・株式会社メイハン

川上ダム流入水バイパス建設工事

- ・株式会社NIS

業務

川上ダム現場技術支援業務

- ・株式会社アクアテルス
- オオサンショウウオ調査等業務
- ・株式会社エイト日本技術開発

堆砂測量杭設置業務

- ・CSGコンサルタント株式会社
- 骨材運搬路面性状調査
- ・株式会社日本インシーク

【工務課 山田 聖】

地震防災訓練の実施



防災本部（情報伝達状況）

令和3年9月1日（水）に地震防災訓練を実施しました。この訓練は、午前8時に東海、東南海・南海の連動により、伊賀市に震度6弱の地震が発生したと想定したものです。

訓練は、初動態勢の確立から施設の臨時点検、情報伝達の確認、被害発生から応急措置・復旧等の地震発生後に実施すべき内容や作業手順を確認しました。特に大規模地震では初動態勢の確立が重要になるため、地震発生後に参集した少ない人数において、防災本部の設置から庁舎の点検、情報伝達、停電の際に発動発電機による電源確保等が出来るか確認しました。

訓練実施後の反省会では、参集者全員がいつでも最新の被災状況等を把握できるよう、情報の集約、整理、掲示方法についての改善など、今後の防災業務に向けて意見を出し合いました。今後、試験湛水が開始されるとダム管理に基づく施設点検になるため、本訓練の反省点も踏まえ試験湛水前に演習を実施し、問題が発生しないように万全を期してまいります。



防災本部（情報内容確認状況）

【工務課 鈴木和春】

久々の登場となりましたが、伊賀市の魅力をお伝えする不定期連載「伊賀市巡り」第2弾をお届けいたします。今回は、動物とのふれあいや手作りの食材を楽しむことができる「伊賀の里 モクモク手作りファーム」に訪れました。

入園してはじめに向かったのは、「ちいさなのんびり学習牧場」。ここではポニーやロバ、牛などを見たり、学んだりすることができます。なかでも、はじめて間近で見るジャージー牛の迫力には圧倒されました。また園内では、モクモクファームのメインともいえる沢山のミニブタたちと会うことができます。彼らが見せてくれるショーでは、ミニブタのみかんくんが華麗なハードル飛びを披露してくれ、会場は拍手喝采。たくさんの愛らしい動物たちに癒やされました。そして、秋のモクモクファームは「ハム・ビア月間」。自家製ソーセージのナンバーワンを決める「モクモクソーセージ総選挙」が開催され、お肉にもビールにも目がないうちは、秋限定のクラフトビールと、炭火でこんがり焼いたソーセージをいただきました。

その他にもザリガニ釣りをし、ハンモックに揺られ、絞りたてのミルクで作られた口溶けなめらかなソフトクリームをいただくなど、のんびりと心休まる時間を過ごしました。

この地に赴任してからずっと訪れてみたかった「モクモクファーム」。この日は初秋には暑すぎるくらい良いお天気で、伊賀市で育った動物たちや自然とふれあいながら、伊賀市で作られた美味しい食べものをいただき、1日だけ夏休みが返ってきたようでした。一方で帰り際、園内に早くもクリスマスライトアップの告知を発見。次は特別な誰かと来られることを夢見て、伊賀市で迎えるはじめての冬を楽しみに待つこととします。



やまびこですっきり気分爽快な機構職員



こんなに間近で見られます



押しソーセージを見つけました



ブタの視界を体験する機構職員

【総務課 奥野紗江】

川上ダム工事現場見学会のご案内

川上ダムでは、事業に対する興味や理解をより深めていただくため、毎月第3日曜日に、午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を実施していますが、令和3年12月、令和4年1月の現場見学会は開催いたしません。次回開催は令和4年2月を予定しています。内容が決まり次第、改めてHPにてご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止とさせていただきます。

編集後記

夏の暑さも過ぎ去りすっかり秋になりました。秋と言えば、食欲の秋や読書の秋など様々なことが楽しめる季節です。皆さまはどのようにお過ごしでしょうか。体を動かしやすい季節になったこともあり、筆者は最近ジョギングにはまっています。体は健康的になり気分転換にもなりますので、皆さまも是非一度されてみてはいかがでしょうか。

季節の変わり目で体調も崩しやすい時期ですので、皆さまもお体には気をつけてお過ごしください。

【広報誌発行事務局】

編集長	津久井（所長）		
デスク	荒木（総務課長）	渡辺（工務課長）	
記者	奥野（総務課）	北爪（調査設計課）	近藤（用地課）
	高橋（機械課）	山田（工務課）	山下（工事課）